

公共プロジェクト提案書（令和8年度予算事業）

令和 7 年 7 月 13 日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住所
氏名
連絡先

みんなのまちづくり施策（公共プロジェクト部門）について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	観光地を巡る乗り降り自由な循環バス		
2 美瑛町共有ビジョンとの関連性	提案する事業は、どの「美瑛町共有ビジョン」を実現するものですか（複数選択可能） <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな美しい景観が、農業と観光の架け橋となるまち <input type="checkbox"/> 誰もが自分の可能性をのばせるまち <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが健康で共に支え合い、安心して住み続けられるまち <input type="checkbox"/> ライフラインが確保され、災害にまけない強さとしなやかさを備えるまち <input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生し、持続可能な循環型社会を目指すまち <input type="checkbox"/> 子どもの個性を育み、全力で応援するまち <input type="checkbox"/> すべての人に居場所と役割があり、希望を持って笑顔で暮らせるまち		
3 地域の課題／事業の目的	① どのような課題を解決する事業か、日々の困りごとの具体例やエピソードを交え記入してください <ul style="list-style-type: none"> 観光客で集中する場所は決まっているが、それぞれ自身の足で向かっているため車の渋滞や自転車の無茶な横断など事故が起こりうる場面がある。 観光客が町にお金を落とす仕組みがまだまだ必要だと思う。 		
	② 上記が「美瑛町の地域課題」であると感じられる理由は何ですか？ <ul style="list-style-type: none"> せっかく来てくれた観光客が不便さを感じることで、停滞時間も短くなりさらに通貨型観光が増えていく。 観光客が出入りする場所付近の住民への配慮として。 オーバーツーリズムによる渋滞緩和 車両によっては、ゼロカーボンへの配慮もありうる。 		
4 事業の内容 (事業の対象者、実施期間、実施場所などできるだけ詳細に記入してください。)	① 概要（どこに住む、どんな世代の、誰に向けた、どのような事業ですか？） 観光客。 自家用車で来ていない、公共交通機関を利用しなければならない人が、自由に乗降できる循環バス。1時間、もしくは30分に1度1周するというもの。チケットは一律料金で、1日どこから乗ってどこで降りても可。というもの。		
	② 実施する場所 クリスマスツリー、拓進館、四季彩、新栄の丘、ケンメリ、千代田の丘、セブンスターなど他多数。公共交通機関が通っていない観光客が集まる場所。		
	③ 実施期間 通年		
	④ 課題の解決に向けて、どのような役割や協力体制が考えられますか？		
	<行政>	<町民>	<その他>
	バス運行手配準備	バス停を設置するための近隣住民への配慮	
5 事業の効果・将来像	事業の実施によって、まちがどのように変化するか、どんな未来につながるのかを教えてください。 観光客にとってシンプルな仕組みの観光地巡りは、観光客にとって無駄になる時間（調べたり検索するなど）をなくし、滞在時間が増え、バスのチケットによって、観光収益も見込める。さらに各スポットの路駐などもなくなり、場合によってはゼロカーボンにも貢献できる。		

※補足資料（収支予算書、写真、他自治体の事例、パンフレットなど）があれば添付してください。

公共プロジェクト提案書（令和8年度予算事業）

令和 7年 8月 10日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住 所
氏 名
連絡先

みんなのまちづくり施策（公共プロジェクト部門）について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	さとやま再生・活用プロジェクト（森林サービス産業の創出・推進）							
2 美瑛町共有ビジョンとの関連性	提案する事業は、どの「美瑛町共有ビジョン」を実現するものですか（複数選択可能） <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな美しい景観が、農業と観光の架け橋となるまち <input type="checkbox"/> 誰もが自分の可能性をのばせるまち <input type="checkbox"/> 誰もが健康で共に支え合い、安心して住み続けられるまち <input type="checkbox"/> ライフラインが確保され、災害にまけない強さとしなやかさを備えるまち <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然と共生し、持続可能な循環型社会を目指すまち <input type="checkbox"/> 子どもの個性を育み、全力で応援するまち <input type="checkbox"/> すべての人に居場所と役割があり、希望を持って笑顔で暮らせるまち							
3 地域の課題／事業の目的	<p>① どのような課題を解決する事業か、日々の困りごとの具体例やエピソードを交え記入してください</p> <p>美瑛町内にはたくさんの豊かな森林（里山）があるが、手入れを放棄されたままになっていることで、人が入れない（歩かない・使わない）状態となり荒れた森林となっている。それにより、昔のように山林に暮らす野生動物（熊や鹿など）と人間の境界が実質的になくなり、野生動物が里に下りてくるといいう現象が起きている。 また人間が自然と接する機会が極端に減り、真の意味での生物多様性や森林の大切さを実感することができない状態となっている。</p> <p>② 上記が「美瑛町の地域課題」であると感じられる理由は何ですか？</p> <p>美瑛町には美しい山林（さとやま）があるに関わらず、町民自身が自然と関わる機会が極点に少なく、活用されていないということ。</p>							
4 事業の内容 （事業の対象者、実施期間、実施場所などできるだけ詳細に記入してください。）	<p>① 概要（どこに住む、どんな世代の、誰に向けた、どのような事業ですか？）</p> <p>世代を問わず美瑛町民が地元の森林の豊かさを享受できる場の創出</p> <p>① 放置された里山（私有林・町裕林）の整備 ・北海道の特徴である二次天然林における環境整備除伐・ツル切り・間伐・森林作業道路網の拡充など</p> <p>② 整備されたさとやま（森林空間）の利活用 ・実体験を通じた環境教育や芸術文化活動 ・キャリア教育 ・心身健康増進プログラム ・観光（研修やチームビルディングなど）</p> <p>③ 環境保全型森林業・森林サービス産業従事者の次世代育成</p> <p>② 実施する場所</p> <p>美瑛町内の森林</p> <p>③ 実施期間</p> <p>2026年度～継続的に</p> <p>④ 課題の解決に向けて、どのような役割や協力体制が考えられますか？</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th><行政></th> <th><町民></th> <th><その他></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・私有森林の把握と整備に向けてのとりまとめ、交渉など ・森林サービス産業推進地域への登録</td> <td>・森林整備への参加（林業従事者・森林ボランティアなど） ・森林空間活用のアイディ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		<行政>	<町民>	<その他>	・私有森林の把握と整備に向けてのとりまとめ、交渉など ・森林サービス産業推進地域への登録	・森林整備への参加（林業従事者・森林ボランティアなど） ・森林空間活用のアイディ	
<行政>	<町民>	<その他>						
・私有森林の把握と整備に向けてのとりまとめ、交渉など ・森林サービス産業推進地域への登録	・森林整備への参加（林業従事者・森林ボランティアなど） ・森林空間活用のアイディ							

	(北海道では黒松内町のみ) ・整備に関わる費用 ・整備後の活用に関わる広報 ・森林環境税の活用	アや主体的な活動	
5 事業の効果・ 将来像	<p>事業の実施によって、まちがどのように変化するか、どんな未来につながるのかを教えてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林空間において木材供給のみにとどまらない森林の多面的な機能を発揮することで、現行林業だけでなく小さな林業への雇用創出、人材育成が可能となり、町の過疎化対策に寄与。 ・地元の豊かな自然を実体験（第一次産業である『農』と『林』のつながり）から理解し、誇りに思う町民が増える。真の意味でのサステイナブルな『循環型社会』を実装することが可能。 ・環境教育を観光の資源とし、関係人口の創出を図る。 		

※補足資料（収支予算書、写真、他自治体の事例、パンフレットなど）があれば添付してください。

補足資料 web ページ

森業の推進について：林野庁

「地方みらい共創戦略」について：農林水産省

里山活性化推進事業／札幌市

映画「Forest Trail」公式サイト

補足資料 札幌市里山活性化事業イベント写真(別添)



Deep Spring Ski-upon Street 2024

春もニニニ!

ちとやま散歩

●当日タイムスケジュール
8:45～オリエンテーション
9:00～しらべ広場を目標して、
ちとやま散歩!
9:45～くさのたを飲んでみよう!しら
べ広場のこたからを一緒に考えよう。
アキ森林センターまで!

●参加費:小学生以下全員 500円 / 一般 1500円 /
中学生以下は無料 / 運賃・保険料付き!
●持ち物:マイカップ、雪山を歩ける服装で来てね!!
無断中止(帰路)の場合は前日20:00までにご連絡ください

ちとやま散歩
2024年3月9日(土)
午前8:45 @ ちとやまの散歩集合 ~ 12:00 終了予定
(山形県志保町小野原33)
お申し込み、お問い合わせ先、もしくはお申し込みの申込書はこちら
2024年3月9日: yamada@springuponstreet.com / 電話: 090-3893-3115 (受付)

申込はこちら
QRコード

主催: (株) ちとやまの散歩 協賛: 山形県志保町 山形県志保町観光協会
山形県志保町7-2-1 志保駅前

公共プロジェクト提案書（令和8年度予算事業）

令和7年8月15日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住所
氏名
連絡先

みんなのまちづくり施策（公共プロジェクト部門）について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	学ぶ子どもたち 応援事業								
2 美瑛町共有ビジョンとの関連性	提案する事業は、どの「美瑛町共有ビジョン」を実現するものですか（複数選択可能） <input type="checkbox"/> 豊かな美しい景観が、農業と観光の架け橋となるまち <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが自分の可能性をのばせるまち <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが健康で共に支え合い、安心して住み続けられるまち <input type="checkbox"/> ライフラインが確保され、災害にまけない強さとしなやかさを備えるまち <input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生し、持続可能な循環型社会を目指すまち <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの個性を育み、全力で応援するまち <input checked="" type="checkbox"/> すべての人に居場所と役割があり、希望を持って笑顔で暮らせるまち								
3 地域の課題／事業の目的	① どのような課題を解決する事業か、日々の困りごとの具体例やエピソードを交え記入してください 奨学金返済のための助成金制度はあるが、入学時、在学中に受け継ぐ奨学金の制度が美瑛町にはない。 ② 上記が「美瑛町の地域課題」であると感じられる理由は何ですか？ 美瑛高校への支援が大きいだが、今後は、すべての学びたい子どもたちへ支援を向けることできるようにする。								
4 事業の内容 (事業の対象者、実施期間、実施場所などできるだけ詳細に記入してください。)	① 概要（どこに住む、どんな世代の、誰に向けた、どのような事業ですか？） 美瑛町で育つ子どもたちが大学等で学びたいと思ってる子すべてに対する支援 ② 実施する場所 美瑛町役場で手続 ③ 実施期間 入学時から在学中～卒業まで ④ 課題の解決に向けて、どのような役割や協力体制が考えられますか？ <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%; text-align: center;"><行政></td> <td style="width:33%; text-align: center;"><町民></td> <td style="width:33%; text-align: center;"><その他></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">奨学金制度をつくる</td> <td style="text-align: center;">学びたい子どもが受け継がれる</td> <td></td> </tr> </table>			<行政>	<町民>	<その他>	奨学金制度をつくる	学びたい子どもが受け継がれる	
<行政>	<町民>	<その他>							
奨学金制度をつくる	学びたい子どもが受け継がれる								
5 事業の効果・将来像	事業の実施によって、まちがどのように変化するか、どんな未来につながるのかを教えてください。 大きな学びを得た子どもたちが将来の美瑛をつくり、支える								

※補足資料（収支予算書、写真、他自治体の事例、パンフレットなど）があれば添付してください。

公共プロジェクト提案書（令和8年度予算事業）

令和7年8月15日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住所
氏名
連絡先

みんなのまちづくり施策（公共プロジェクト部門）について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	いつでも、いつまでも 豊かな森林持続事業								
2 美瑛町共有ビジョンとの関連性	提案する事業は、どの「美瑛町共有ビジョン」を実現するものですか（複数選択可能） <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな美しい景観が、農業と観光の架け橋となるまち <input type="checkbox"/> 誰もが自分の可能性をのばせるまち <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが健康で共に支え合い、安心して住み続けられるまち <input checked="" type="checkbox"/> ライフラインが確保され、災害にまけない強さとしなやかさを備えるまち <input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然と共生し、持続可能な循環型社会を目指すまち <input type="checkbox"/> 子どもの個性を育み、全力で応援するまち <input checked="" type="checkbox"/> すべての人に居場所と役割があり、希望を持って笑顔で暮らせるまち								
3 地域の課題／事業の目的	<p>① どのような課題を解決する事業か、日々の困りごとの具体例やエピソードを交え記入してください</p> <p>ここ数年で美瑛町内の森林があちこちで皆伐されている。環境が変わり、その地域の景色や気候（風の流木や温度等）が変わってしまったり、生態系への影響が懸念される。我が家の近くの皆伐直後、家の敷地内で初めてモモンガを確認したが、その後は見かけない。また、このところ各地で起きている豪雨災害などによる土砂流出等も心配している。</p> <p>② 上記が「美瑛町の地域課題」であると感じられる理由は何ですか？</p> <p>役場としては「木を切っても植林していれば」計画的に森林を管理している森林所有者」との受け止めになっているとのこと。しかし、美瑛の森林を管理すると言う事は、環境を守り、人間を含む動植物の命を守ることに繋がると言う事を町としても森林所有者の故に伝えたい。</p>								
4 事業の内容 （事業の対象者、実施期間、実施場所などできるだけ詳細に記入してください。）	<p>① 概要（どこに住む、どんな世代の、誰に向けた、どのような事業ですか？）</p> <p>町内の森林を所有する個人、団体と森林の管理の委託を受けている業者に向けて、皆伐ではなく間伐（列状間伐）を勧める事業</p> <p>② 実施する場所</p> <p>美瑛町内の森林</p> <p>③ 実施期間</p> <p>通年</p> <p>④ 課題の解決に向けて、どのような役割や協力体制が考えられますか？</p> <table border="1"> <tr> <td><行政></td> <td><町民></td> <td><その他></td> </tr> <tr> <td>・森林所有者や委託業者へ間伐の必要性を伝える ・間伐する際に補助をする</td> <td>森林所有者は間伐等について早く皆伐をやめる</td> <td>委託業者は間伐の技術を向上させ所有者に勧める</td> </tr> </table>			<行政>	<町民>	<その他>	・森林所有者や委託業者へ間伐の必要性を伝える ・間伐する際に補助をする	森林所有者は間伐等について早く皆伐をやめる	委託業者は間伐の技術を向上させ所有者に勧める
<行政>	<町民>	<その他>							
・森林所有者や委託業者へ間伐の必要性を伝える ・間伐する際に補助をする	森林所有者は間伐等について早く皆伐をやめる	委託業者は間伐の技術を向上させ所有者に勧める							
5 事業の効果・将来像	事業の実施によって、まちがどのように変化するか、どんな未来につながるのかを教えてください。 ・裸地化した山も見ないです。自然豊かな美瑛町の森がいつでも続く。 ・人も動物も虫も安心して暮らしていける。 ・美瑛を訪れる人は、いつでも美瑛の森林に癒される。								

※補足資料（収支予算書、写真、他自治体の事例、パンフレットなど）があれば添付してください。

※ 「列状間伐の手引き

～ 民有林における列状間伐の普及に向けて～」

林野庁整備課 平成31年3月

<https://www.rinya.maff.go.jp>

kanhatu-1.pdf

公共プロジェクト提案書（令和8年度予算事業）

令和7年8月15日

美瑛町長 角和 浩幸 様

提案者 住所
氏名
連絡先

みんなのまちづくり施策（公共プロジェクト部門）について、次のとおり関係書類を添えて提案します。

1 事業の名称	自分で選んで決めた！ 予防接種を考える事業							
2 美瑛町共有ビジョンとの関連性	提案する事業は、どの「美瑛町共有ビジョン」を実現するものですか（複数選択可能） <input type="checkbox"/> 豊かな美しい景観が、農業と観光の架け橋となるまち <input type="checkbox"/> 誰もが自分の可能性をのばせるまち <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが健康で共に支え合い、安心して住み続けられるまち <input type="checkbox"/> ライフラインが確保され、災害にまけない強さとしなやかさを備えるまち <input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生し、持続可能な循環型社会を目指すまち <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの個性を育み、全力で応援するまち <input checked="" type="checkbox"/> すべての人に居場所と役割があり、希望を持って笑顔で暮らせるまち							
3 地域の課題／事業の目的	① どのような課題を解決する事業か、日々の困りごとの具体例やエピソードを交えて記入してください 年々、赤ちゃんにすすめられる予防接種の種が増えている。赤ちゃん以外でもHPV、インフルエンザ、新型コロナ、帯状疱疹等 受けられるワッチャがたくせんある。現場から知らせが来ると受けたくにはいけないと思っている人がいると思う。特に赤ちゃんの予防接種は親の義務だと思っている人がたくさんいると思う。 ② 上記が「美瑛町の地域課題」であると感ぜられる理由は何ですか？ 予防接種は町が町民に対して行うサービスである事。予防接種法の「努力義務」は、「強制」でも「義務」でもない事。それぞれ予防接種の必要性と危険性を考える機会を町民に作って、しっかり伝えて欲しい。							
4 事業の内容 （事業の対象者、実施期間、実施場所などできるだけ詳細に記入してください。）	① 概要（どこに住む、どんな世代の、誰に向けた、どのような事業ですか？） 町民すべて（特に子どもが生まれる人、生まれた人、高齢者と高齢者の家族。施設の職員）に予防接種のXY、T・デXY、Tを学ぶ。考えてもらう。 ② 実施する場所 郵送、又は保健センター等で学習会 ③ 実施期間 通年 ④ 課題の解決に向けて、どのような役割や協力体制が考えられますか？ <table border="1"> <thead> <tr> <th><行政></th> <th><町民></th> <th><その他></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予防接種の必要性を伝える「義務」「強制」ではない事を伝達し、XY、T・デXY、Tを伝える</td> <td>予防接種について学ぶ。予防接種が自分に必要か、子どもに必要か等を考える。</td> <td>施設等の職員も強要しなくなり、自分で決める。</td> </tr> </tbody> </table>		<行政>	<町民>	<その他>	予防接種の必要性を伝える「義務」「強制」ではない事を伝達し、XY、T・デXY、Tを伝える	予防接種について学ぶ。予防接種が自分に必要か、子どもに必要か等を考える。	施設等の職員も強要しなくなり、自分で決める。
<行政>	<町民>	<その他>						
予防接種の必要性を伝える「義務」「強制」ではない事を伝達し、XY、T・デXY、Tを伝える	予防接種について学ぶ。予防接種が自分に必要か、子どもに必要か等を考える。	施設等の職員も強要しなくなり、自分で決める。						
5 事業の効果・将来像	事業の実施によって、まちがどのように変化するか、どんな未来につながるのかを教えてください。 自分の人生（子どもの人生）をしっかりと考え、迷いながらも選択し、町民それぞれがお互いの生き方を認め合える町になっていけばいいな。							

※補足資料（収支予算書、写真、他自治体の事例、パンフレットなど）があれば添付してください。

※ 厚生労働省 予防接種・ワクチン分科会
副反応検討部会

[https://www.mhlw.go.jp/
stf/shingi-kousei-284075.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi-kousei-284075.html)

※ 「子どもと親のためのワクチン読本シリーズ」

「予防接種を考える 75 の話」

母里 啓子 著 + 「子どもと親のためのワクチン読本」
編集部

双葉社

2024年11月23日 発行